

実践報告 「防災・減災について考える」

山梨大学教育学部附属特別支援学校 川 崎 梨 花

1 はじめに

本校は甲府駅北口から徒歩約 20 分の場所に位置し、山梨大学甲府キャンパスに隣接しています。全校児童生徒は約 60 名で、家庭的な雰囲気の中、教育活動を展開しています。山梨大学の学生や教員が頻繁に訪れることができる、非常に恵まれた環境です。

2 山梨県各校における「防災活動」の実践

(1) 多様な防災活動

山梨県には富士山があり、ふもとに設置されている支援学校では富士山噴火を想定した訓練が行われています。ヘルメットに加えゴーグルも常備するなど、具体的かつ実践的な備えがされています。

また、県内の各学校では、火災・地震などの災害を想定した避難訓練、防火訓練、起震車体験、煙体験、避難所体験、非常食体験など、実践的な防災教育が積極的に行われています。

(2) 保護者の声

保護者からは、防災に対する不安や期待、学校への信頼など、様々な意見が寄せられています。

- ・防災マニュアルの徹底や学校との連携はもちろん、家庭での防災意識の向上も重要だと感じています。
- ・通学の途中で災害が起きたら、と思うと心配です。
- ・災害時は中央道や国道は通行止めになる可能性があります、迎えに行けないことも考えられます。宿泊は難しくても一定時間学校で過ごせると安心です。
- ・簡易トイレやアルミの防寒グッズなどの備蓄品も劣化すると聞いており、効果的な活用方法があれば良いと思います。
- ・防災について、準備する時間がなかなか取れないのが現状です。
- ・以前（平成 23 年度）、PTA の取組として「SOS ファイル」を作成しました。災害時に子どもが支援を受けるために必要な情報として、本人の障害の特徴や特性、コミュニケーションの取り方、くせ、様々な場面の対応の仕方、薬の処方箋などを 1 冊のファイルにまとめました。

3 本校の取り組み

(1) 防災教育の充実

本年度、本校では防災マニュアルの改訂を行い、防災教育のさらなる充実を図っています。児童生徒の安心・安全を高めるため、小学部では「SOS カード」の作成や、防災リュックを活用した学習を導入しました。

また、給食日よりでは、備蓄品の期限が近付いたら入れ替えるローリングストックや湯せん調理など、家庭でも実践可能な防災情報を発信しています。

(2) 「私もやってみました！」

災害時は電気が使えず、給水が受けられたとしても、使用できる水の量は限られます。非常食や保存食の備蓄も重要ですが、まず優先すべきは冷蔵庫内の食品です。給食日よりで紹介された湯せん調理を参考に、平常時と非常時を区切らずに活用できるフェーズフリーレシピとして、普段から家族が好きでよく食べるキーマカレー、やきそば、スパゲティ、炊き込みご飯など、その時に自宅にあった食材で試しに何品か作ってみました。湯せん調理に適した鍋の大きさがあることや、調理の注意点、調理後に活用できるお湯の量がどのくらいあるのか、普段の調理との味の違い等々、多くの気づきがありました。



さらに、子どもに普段から持たせる防災ポーチを最低限何があったら安心なのか、子どもと一緒に考えアイテムをそろえてみました。また、非常時の自宅の明かりの点検や見直しを行い、どの程度見えるのか、落ち着く雰囲気なのかを確かめました。

4 「防災」に思う

防災は学校だけでなく、家庭や地域との連携が不可欠です。日頃からの備えと意識の共有が、いざという時の安心につながります。今後も、児童生徒の命と安全を守るため、学校・家庭・地域が一体となった防災体制の構築を目指していきます。

令和 7 年度 関知P連 山梨大会

防災・減災について考える ～安心安全な暮らしのために～



山梨大学教育学部附属特別支援学校

PTA会長 川崎梨花



山梨県

防災について考える



山梨大学教育学部附属特別支援学校



山梨県内の 防災活動の 紹介



学校での取り組み



学校での取り組み



学校での取り組み



▶ 保護者の声から

自主通学の途中で災害が起きたら...心配。

災害時は中央道や国道は通行止めが考えられるし...

災害発生時は、迎えに行けないこともありそう...

宿泊は難しくても一定時間は学校で過ごすせるといいです。

防災のために買い置いている簡易トイレやアルミの防寒グッズも劣化すると聞いて良い活用方法があれば良いと思う

しっかり時間をかけて考え、準備をしなければいけないと思うが、なかなか出来ていない。

備蓄品について、賞味期限を迎える前に消費するローリングストックを上手にできるようになりたいのですが難しい。

大雪や台風などは、あらかじめ対応できるが、予測不可能な地震が怖いです。



すべてのスクールバスの中に保存水を車載整備しました！
PTA会計で支出しています！

何か災害があった際、家族がバラバラになっている時は、『通っていた小学校の正面玄関に集まる』ということは皆で話をしています。

わかば支援学校では平成23年度にPTAで「SOSファイル」を作成しました！

PTA会費で、災害時の備品等も購入してもらっています。

防災マニュアルの徹底、学校との連携はもちろん、各家庭での防災意識の向上も必要なことだと思います。



災害時に子どもが支援を受けるために必要な情報として、本人の障害の特徴や特性、コミュニケーションの取り方、くせ、様々な場面の対応の仕方、薬の処方箋などを1冊のファイルにまとめました。

本校の ▶ 防災教育の取組

防災マニュアルの改訂
防災教育の充実

防災マニュアル

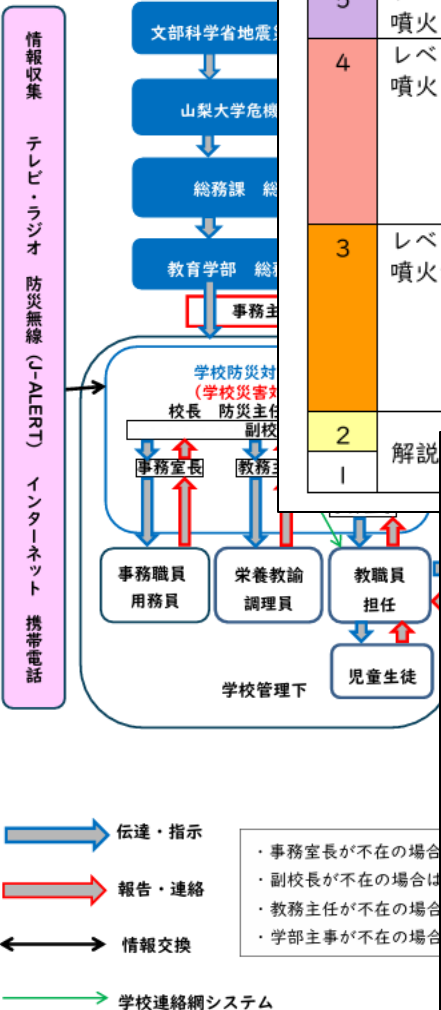
学校危機管理マニュアル



山梨大学教育学部附属特別支援学校

令和7年版

④情報連絡体制



●基本的な対応

甲府市は富士山火山災害警戒地域外であるが、どの噴火警戒レベルであっても、気象庁や自治体等が発表する情報を収集し、必要に応じて大学や4校園と情報を共有して対応する。

噴火警戒レベル (状況)	基本措置	職員体制	対応職員
5 レベル引き上げ 噴火の	・降灰の影響等について確認し、安全面と健康面を考慮して授業の実施や方法を判断する。	第2配備	学校防災対策委員
4 レベル引き上げ 噴火の拡大	・居住地域の状況によっては、出席停止等の措置をとる。 ・保護者に情報発信を行う。 ・状況により保護者への引き渡しを行う。	状況で 第3配備	状況で 職員全員
3 レベル引き上げ 噴火が発生	・降灰の影響等について確認し、安全面と健康面を考慮して授業の実施や方法を判断する。 ・居住地域の状況によっては、出席停止等の措置をとる。 ・保護者に情報発信を行う。	第1配備	管理職 教務主任
2 1	解説		

●状況により考えられる災害

火山灰（噴火による固形物で直径2mm未満のもの）
堆積0.1～2cmの可能性

- ・人体：目、鼻、喉、気管支、肺への影響
- ・道路：1mm以上の堆積で車両速度30km/h程度
5cm以上の堆積で車両速度10km/h程度
10cm以上の堆積で通行止め
3cmの灰でも、雨が降った状態では通行不可
- ・鉄道：0.5mmで運行システム障害の恐れのため運行中
- ・電力：3mm以上の堆積、降雨でショートが起り停電
- ・水道：2mm以上の堆積で浄水場が稼働不可
- ・下水道：2mm以上の堆積、降雨で下水管が詰まる
- ・建物：7cmの堆積（4cmの堆積、降雨）で損傷、倒壊

SOSカード



なまえ



せいべつ



けつえきがた



型

せいねんがっぴ



年 月 日

じゅうしょ



でんわばんごう



がっこう	すきなたべもの
	あんこ  やきそば 
がっこうのでんわば	
	
かぞくのなまえ	にがてなたべもの
	さかな 
	アレルギー
	なし
	くすり
	なし
	いつもいくびょういん
	 のびのびびょういん
	てつだってほしいこと
	 タブレットでおは 
	だいすきなもの・たいせつなもの
	 しずかちゃんとのあるはむ 

ひなんさき①



のびのびこうみんかん

ひなんさき②



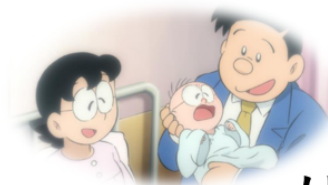
のびやまこうえん

メッセージ



のびたくんへ

のびたくんは、
つよいこだから
だいじょうぶ！



ぱぱ・ママより

給食だより

ローリング
ストック



食の備えを見直しましょう.....



9月1日は「防災の日」です。
いつ起こるか分からない災害に備えて、備蓄について家族で話し合しましょう。
水や食料品は最低3日分、できれば1週間分を備えておくことが勧められています。家族それぞれで自分の好みに合った非常食も揃えておくといいでしょう。日常よく食べているものを多めに買い置きし、食べたらいっぱい「ローリングストック」で無理なく備えましょう。



水は必需品！
1人1日3Lが目安です。



食料品は常温で保存ができ、簡単な調理やそのまま食べられるものが便利です。



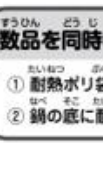
缶詰、レトルト食品、乾物、日持ちのする野菜など。

好きなお菓子や食べ慣れているものがあると、不安な気持ちやわらけてくれます。





カセットコンロとボンベがあれば、食べられる食品の幅が広がります。



数品を同時に作れて水を節約できる**湯せん調理**がおすすめです。

- ① 耐熱ポリ袋に食材、水、調味料などを入れ、空気を抜いて袋の上の方で結ぶ。
- ② 鍋の底に耐熱皿や布巾などを敷いてお湯を沸かし、①を入れて加熱する。

湯せん調理

家庭での実践 「私もやってみました！」

湯せん調理

防災ポーチ

自宅の明かり

カレー & 照り焼きチキン



ごはん



ハヤシライス



ケチャップライス



やきそば





スパゲティ



ハンバーグ & オムレツ



うどん



試食の感想



防災ポーチ

ポーチの中身



ヘルプカード

障害名・病名 (自閉スペクトラム症)
言語障害

通院先 あけぼの医療福祉センター
電話 0551-22-6113
6111

服薬 (有) (無) B型ph+
・朝 アリビタリン 2錠 夜 リスパリリン 1錠
・ アリビタリン 2錠 夜 リスパリリン 5mg
モンテロカステル 10mg

配慮してほしいこと

☐ () が不自由です
☐ 人工透析をしています
☐ ペースメーカーを使用しています
☐ () 発作があります
☒ パニックになることがあります
理由 (大きな音や声、急な時針の動き)
☒ アレルギーがあります
内容 (さくらんぼ)
アレルギー (卵・ピーナツ)

☒ コミュニケーションが苦手です
☒ 簡単な言葉で説明してください
☐ 筆談で伝えてください
☐ 手話通訳が必要です
☐ 書いてある情報を音読してください
☐ 移動の際、介助してください
内容 ()

☒ その他、配慮してほしいことがあります

自由記載欄

・会話を理解したり、話を正しく伝えることが苦手です。

・パニックに陥った時は静かな場所に誘導してください。その時強い口調の声をかけたとき更にパニックに陥ります。

「明かり」の実験







防災に思う

令和 7 年度 関知P連 山梨大会

防災・減災について考える ～安心安全な暮らしのために～



ご清聴ありがとうございました。